

科学の趣味

氷山の神祕と
ローマンス

一九三九年十一月アメリカの探検家バード少將は南極の探検へと出かけた。政府後援の下に三隻の汽船（その一つが目下當港に碇泊中のベアード號である）に一年分の食糧を積み、飛行機も用意して非常に大規模に探検しアメリカの南北洋進出の根據地を開拓した。

同少將およびベアード號船長であるリチャード中佐の語る處によれば、南極でも最も危険で、さうして神祕で愉快味のあるのは氷山であると、今その氷山に絡むローマンスとその神祕性を綴つてみやう。

極地の征服

今までにも南極探検はしばしば行はれたが、はじめて極地に到着したのはノルウェーのアムゼンだつた。それから僅か三十四日おくれてイギリスのスコットが奇しく同じトが四人の隊員を率みて、地の最南端の極地に最初に征服しようと思ひ込んで、長い間の惨憺たる辛苦の結果、彼方に、なにか黒い異様なものを見つけた。一行はなんとか生き残つてゐた。それが二十一年の十一月よりはるかに、彼方へ向けて、ついで、その死體は死してしまつた。その死體は救援隊によつて発見された。當時は飛行機や無電を利用すれど、過勞と飢えと寒さに一人ゆく、これが氷山である。彼は、氷の足跡を残つてゐた。それは三十いへば、ロシアのショミット

家庭に於ける

實際的看護の秘訣

[英]

海軍看護特務大尉

築田多吉

自然療法の偉大なる力
自然療法は個體細胞の不思議なる活力でありまして、動植物にはすべてこの偉大なる自然の力を備へてゐるため、病原體に對抗して自然に治らなければなりません。超科學の結核病は、この結核病にたいして最も有効なる働きをなすものは血液であります。しかし、この力は補助して衰へないやうに強くゆくのが即ちこれを撃退して、健康を保持してゐるのであります。しかし、この力を補助して衰へないやうに強くゆくのが即ち

微生物が奥深くゆかれなくな

る

花

草

樹木

植物

微生物

細菌

細胞

